

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】



1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	救急活動時(傷病者を医療機関へ収容後)において、救急車両のキーを車内に閉じ込めたため、病院引き揚げが遅延した。
3. 体験した事例の中心的要素	傷病者を医療機関へ搬入後、使用資器材を救急車内へ撤収。その後、院内活動補助を実施。救急車が無人となるため上司から施錠を指示されエンジンをかけた状態でスペアキーを使用せず車内後部から運転席へ身を乗り出して集中施錠し、車両後部左スライドドアから降車したものの。
4. 体験した事例の原因・理由	車両の特性を理解していないこと及びスペアキーを持ち出さなかったこと。

【体験した事例の直接的原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	行動の実行に問題があった。
------------------	---------------

【体験した事例について】



1. 発生日時	平成27年10月26日 午前8時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外：病院救命救急センター入口
4. 体験した事例の種類	
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	その他：救急車両のキー閉じ込め
7. 事例体験時の活動	救急撤収
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	その他：傷病者を医療機関へ収容し、使用資器材を撤収後
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[41]歳、勤続年数[23]年、現場経験年数[23] 年、階級[消防司令補] 同様の活動 [初めて]、任務 [車長]
○当事者B	年齢[31]歳、勤続年数[12]年、現場経験年数[12] 年、階級[消防士長] 同様の活動 [], 任務 [隊員]
○当事者C	年齢[25]歳、勤続年数[2]年、現場経験年数[2] 年、階級[消防士] 同様の活動 [], 任務 [隊員]
○その他(当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生時の経過。

	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者B	医療機関へ傷病者収容後、院内活動のため、隊員【当事者C】に車両の施錠をするよう指示。	
経過2	当事者C	施錠指示を受け、エンジンをかけた状態でスペアキーを使用せず、車内後部から運転席へ身を乗り出して集中施錠し、車両後部左スライドドアから降車。	
経過3	当事者C	院内に入った後、施錠した車両の解錠ができるのか気になったため、車両に戻ったところ、解錠できなかったためその旨を救急隊長【当事者A】に報告する。	
経過4	当事者A	隊員【当事者C】より報告を受け、車両を確認するも、解錠ができないことを再確認する。救急車両配置署の責任者に報告、スペアキーを医療機関まで搬送するように依頼する。	
経過5			
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

たまたま、事故にならなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

--

○装備・資機材の対策について

--

○活動環境の対策について

--

○指揮・情報伝達の対策について

--